

2021年 東京都のHIV感染者・AIDS患者の動向及び 検査・相談事業の実績

2021年のトピックス

- HIV感染者及びAIDS患者を合わせた届出報告数は357件で、2012年以降の10年間で最も少なかった。なお、HIV感染者は294件、AIDS患者は63件であった（図-1）。
 (1)国籍(日本・外国)、性別に見ると、日本国籍男性が299件で最も多い（図-2）。
 (2)推定感染経路別に見ると、性的接触によるものが297件で全体の83.2%、男性同性間性的接触によるものが267件で全体の74.8%であった（図-3）。
 (3)年代別の割合は、HIV感染者は20～30歳代が72.1%、AIDS患者は30～50歳代が73.0%であった（図-4）。
- 保健所等でのHIV/AIDSに関する電話相談件数は7,943件で、前年から1,564件減少した。HIV検査件数は15,259件で、前年から2,111件減少したが、陽性率は0.75%で前年から0.12ポイント上昇した（図-5、6）。
- HIVの感染リスクを高めると言われている性感染症の「梅毒」は、患者報告数が2,451件で、前年と比べて872件増加し、1999年の調査開始以降、最多となった。（図-9）。
 (1)感染経路別に見ると、異性間性的接触(男性)777件、異性間性的接触(女性)766件、同性間性的接触(男性)498件の順に高く、いずれも2012年以降の10年間で最も多かった（図-10）。
 (2)男性は20～50歳代に多く、女性は20歳代に多い（図-11）。
 (3)性風俗産業従事歴・利用歴を見ると、女性患者の約半数に性風俗産業従事歴があり、男性患者の約25%に利用歴があった（図-12）。

本報告は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づいて、2021年に報告されたHIV感染者とAIDS患者の統計及び区・都の保健所等における相談・検査業務の実績をまとめ、分析したものである。

また、図表中では、東京都新宿東口検査・相談室(旧東京都南新宿検査・相談室)を新宿東口、東京都多摩地域検査・相談室を多摩地域と記載する。

なお、2020年、2021年については、検査縮小や一時休止等、新型コロナウイルス感染症の影響がある。

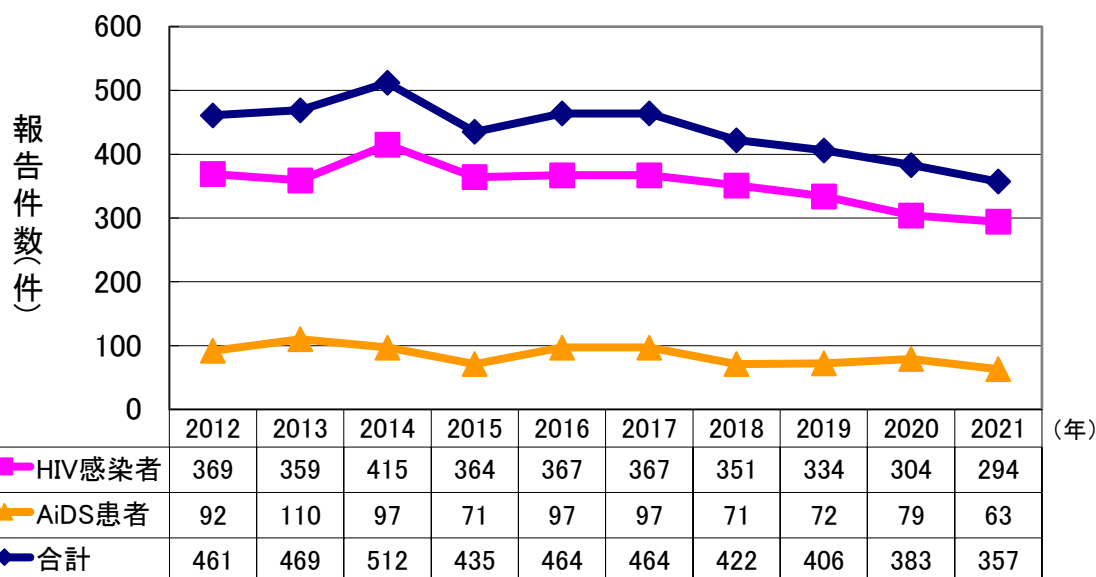
1 HIV感染者及びAIDS患者の発生動向

(図-1)

HIV感染者及び
AIDS患者の
報告数の推移

ひとくち
×ME

HIV感染者：
HIV（ヒト免疫不全
ウイルス）に感染し
ているが、AIDSを
発症していない状
態。



HIV感染者は、前年と比べて10件減少した。AIDS患者は、前年と比べて16件減少した。HIV感染者及びAIDS患者を合わせた届出報告数は、2012年以降の10年間で最も低かった。

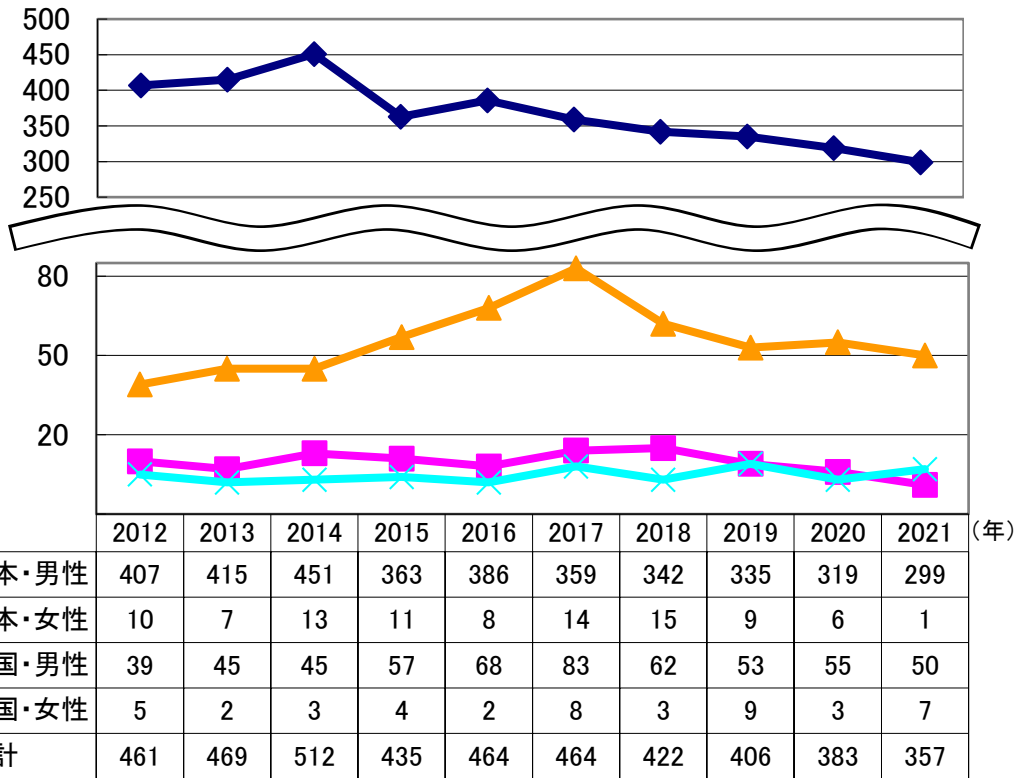
(図-2)

HIV感染者及びAIDS患者合計の国籍・性別報告数の推移(過去10年)

ひとくちメモ

AIDS患者：HIV感染により免疫力が低下し日和見感染症や悪性腫瘍等(23指標疾患)が認められた状態です。HIV感染後未治療の場合、数年～10数年でAIDSを発症すると言われています。

報告件数(件)



日本国籍男性の報告数は、前年に比べて20件減少した。日本国籍女性と外国籍男性及び女性の報告数は、近年ほぼ横ばいで推移している。

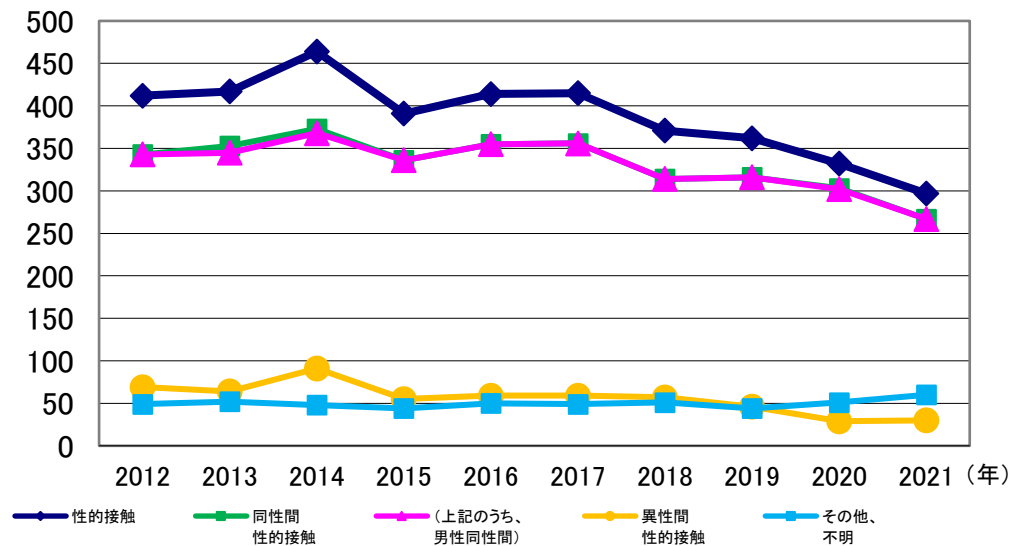
(図-3)

HIV感染者及びAIDS患者合計の推定感染経路別報告数の推移(過去10年)

ひとくちメモ

図-3の「その他、不明」には、感染経路が不明や、母子感染、静注薬物使用の可能性のある場合などが含まれます。

報告件数(件)

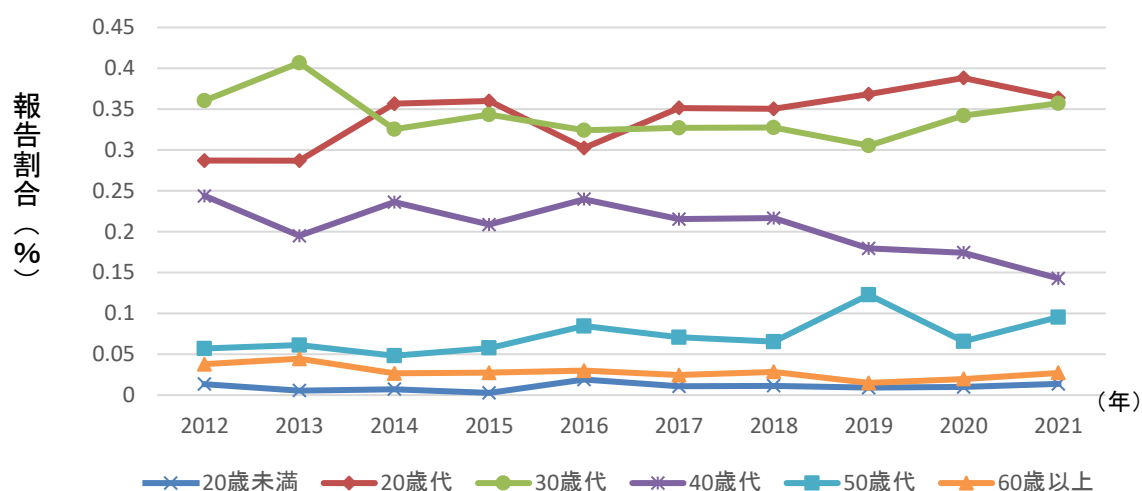


性的接触によるものが297件で全体の83.2%を占めた。そのうち男性同性間性的接触による報告数は前年に比べて35件減少し、267件で全体の74.8%、異性間性的接触による報告数は前年に比べて1件増加し、30件で全体の8.4%となっている。

(図-4)

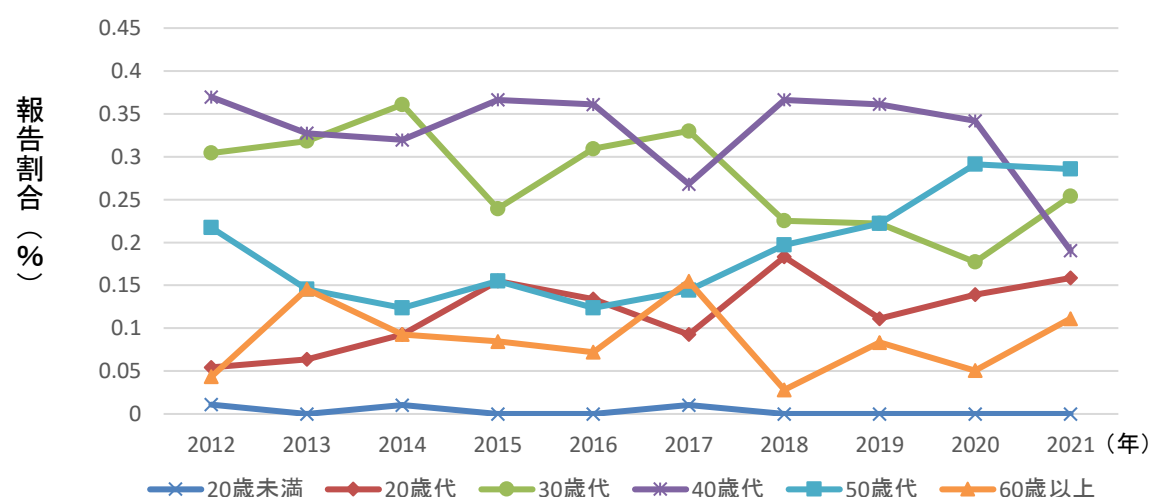
HIV感染者及び
AIDS患者の
年齢別割合
(2021年)

(1) HIV感染者



HIV	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
20歳未満	1.4%	0.6%	0.7%	0.3%	1.9%	1.1%	1.1%	0.9%	1.0%	1.4%
20歳代	28.7%	28.7%	35.7%	36.0%	30.2%	35.1%	35.0%	36.8%	38.8%	36.4%
30歳代	36.0%	40.7%	32.5%	34.3%	32.4%	32.7%	32.8%	30.5%	34.2%	35.7%
40歳代	24.4%	19.5%	23.6%	20.9%	24.0%	21.5%	21.7%	18.0%	17.4%	14.3%
50歳代	5.7%	6.1%	4.8%	5.8%	8.4%	7.1%	6.6%	12.3%	6.6%	9.5%
60歳以上	3.8%	4.5%	2.7%	2.7%	3.0%	2.5%	2.8%	1.5%	2.0%	2.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(2) AIDS患者



AIDS	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
20歳未満	1.1%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	5.4%	6.4%	9.3%	15.5%	13.4%	9.3%	18.3%	11.1%	13.9%	15.9%
30歳代	30.4%	31.8%	36.1%	23.9%	30.9%	33.0%	22.5%	22.2%	17.7%	25.4%
40歳代	37.0%	32.7%	32.0%	36.6%	36.1%	26.8%	36.6%	36.1%	34.2%	19.0%
50歳代	21.7%	14.5%	12.4%	15.5%	12.4%	14.4%	19.7%	22.2%	29.1%	28.6%
60歳以上	4.3%	14.5%	9.3%	8.5%	7.2%	15.5%	2.8%	8.3%	5.1%	11.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

HIV感染者報告数の年代別割合は、20～30歳代が多く、近年全ての年代でほぼ横ばいとなっている。AIDS患者報告数の年代別割合は30～50歳代が多いが、40歳代は前年に比べ、15.2%減少した。また、30歳代は前年に比べ、7.7%、60歳以上は前年に比べ、6.0%増加した。

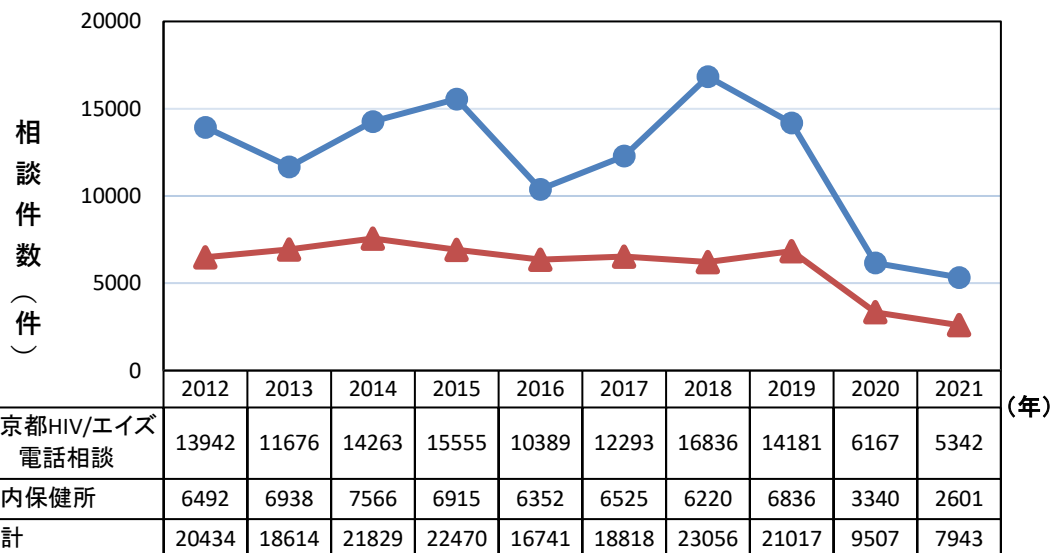
2 保健所等における相談・検査体制

(図-5)

電話相談件数の推移
(過去10年)

ひとくち
メモ

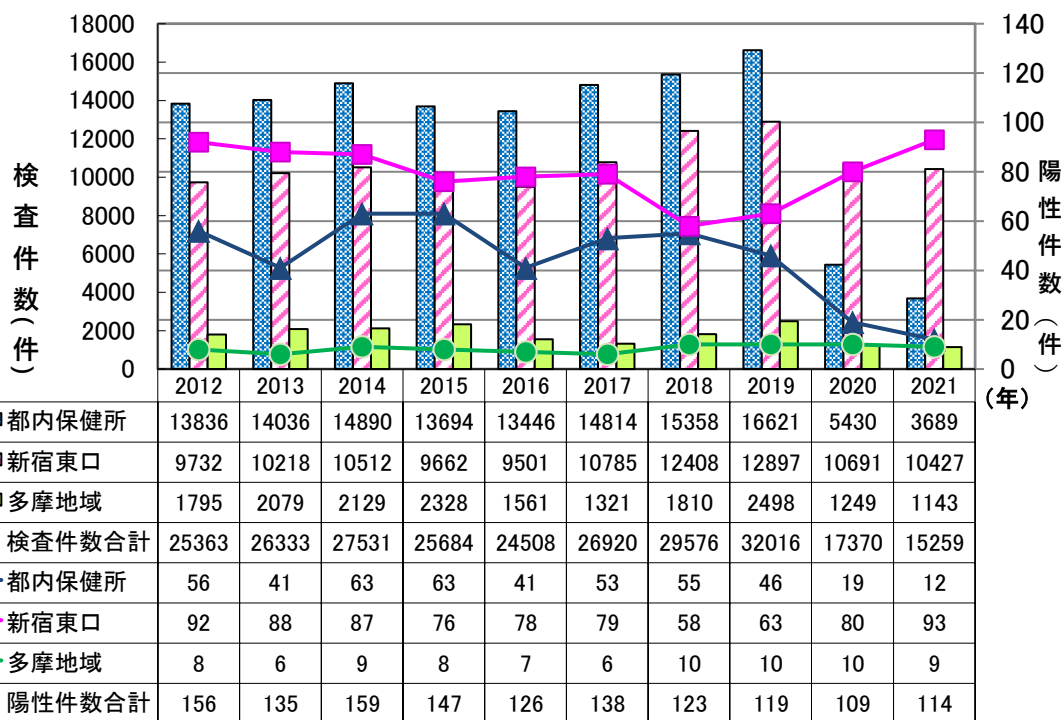
東京都HIV/エイズ
電話相談：
03-3227-3335
平日：正午～21時
土日祝：14時～
17時 HIV/エイズ
に関する感染不安や
予防などの相談に
応じています。



電話相談件数の合計は7,943件で、前年よりも1,564件減少した。
東京都HIV/エイズ電話相談は825件減少し、都内保健所では739件減少した。

(図-6)

HIV検査件数及び陽性件数の推移
(過去10年)

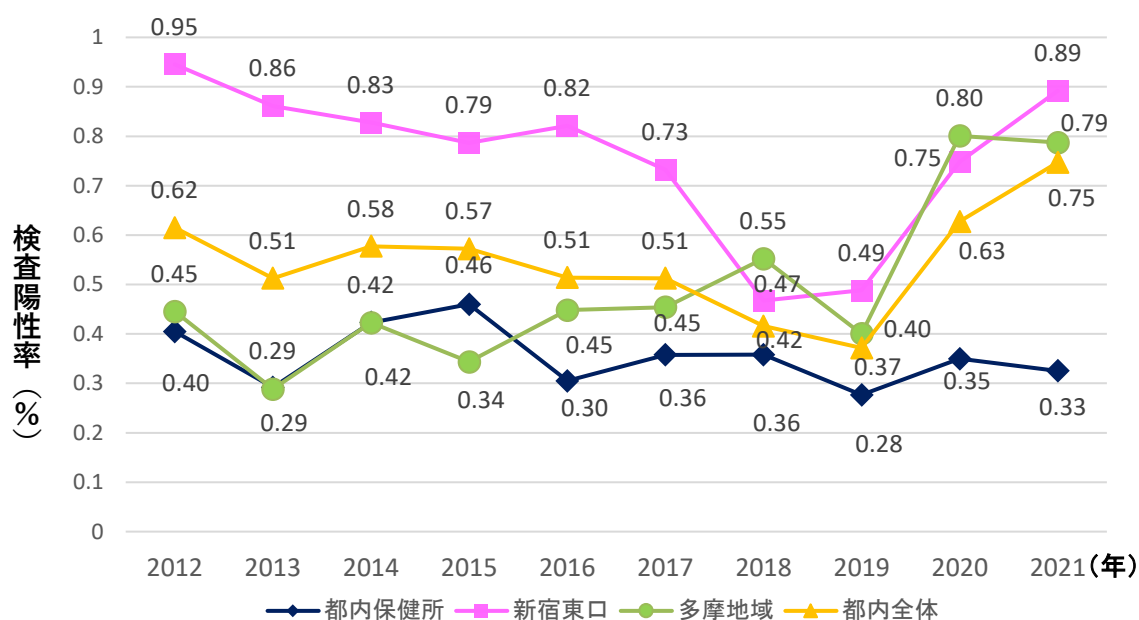


HIV検査件数の合計は15,259件で、前年と比べて2,111件減少した。
検査機関別に見ると、都内保健所は1,741件、新宿東口は264件、多摩地域は106件減少した。

陽性件数の合計は114件で、前年と比べて5件増加した。
検査機関別に見ると、都内保健所は7件、多摩地域は1件減少した。
一方、新宿東口の陽性件数は13件増加した。

(図-7)

HIV検査陽性率の推移
(過去10年)

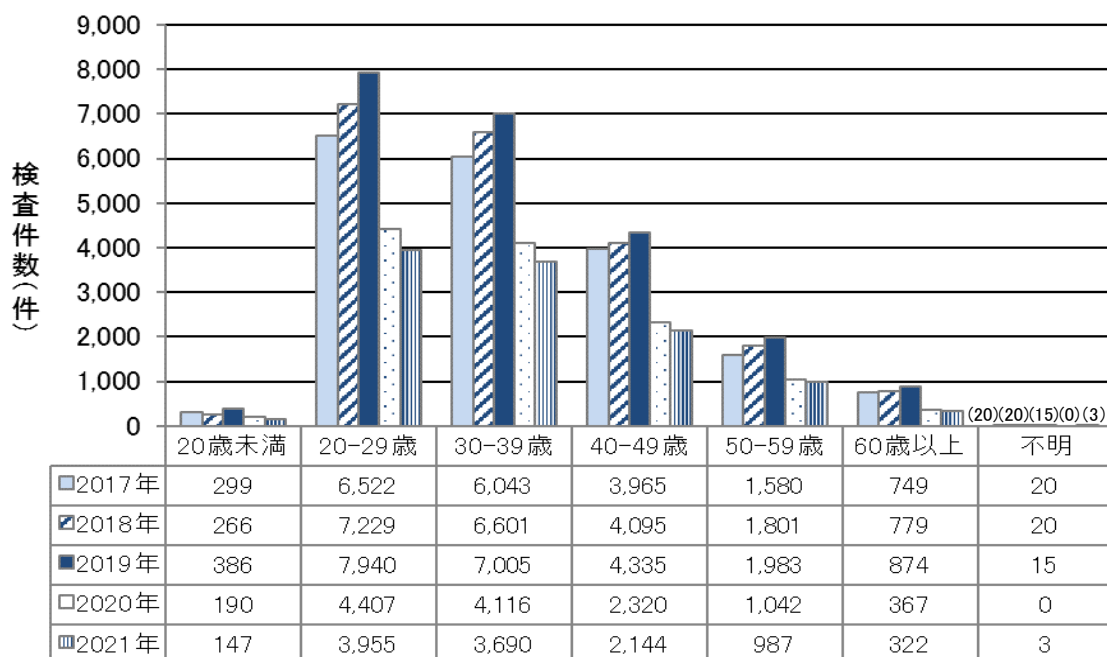


検査陽性率は0.75%で、前年と比べて0.12ポイント上昇した。
 検査機関別に見ると、都内保健所の陽性率は0.02ポイント、多摩地域は0.01ポイント低下した。
 一方、新宿東口は、0.14ポイント上昇した。

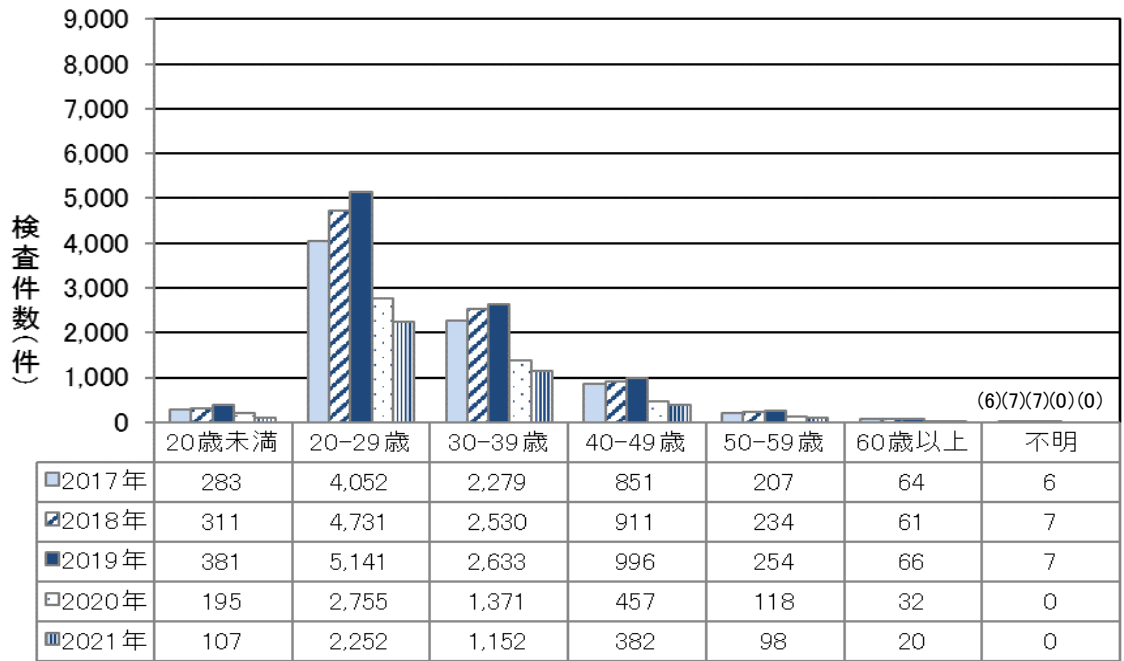
(図-8)

男女別・年齢層別HIV検査件数の推移
(過去5年)

(1)男性



(2)女性



年齢層別のHIV検査件数は、男女ともにすべての年代で、前年と比べ減少した。男女ともに20歳代が最も検査件数が多く、次いで、30歳代、40歳代の順となった。

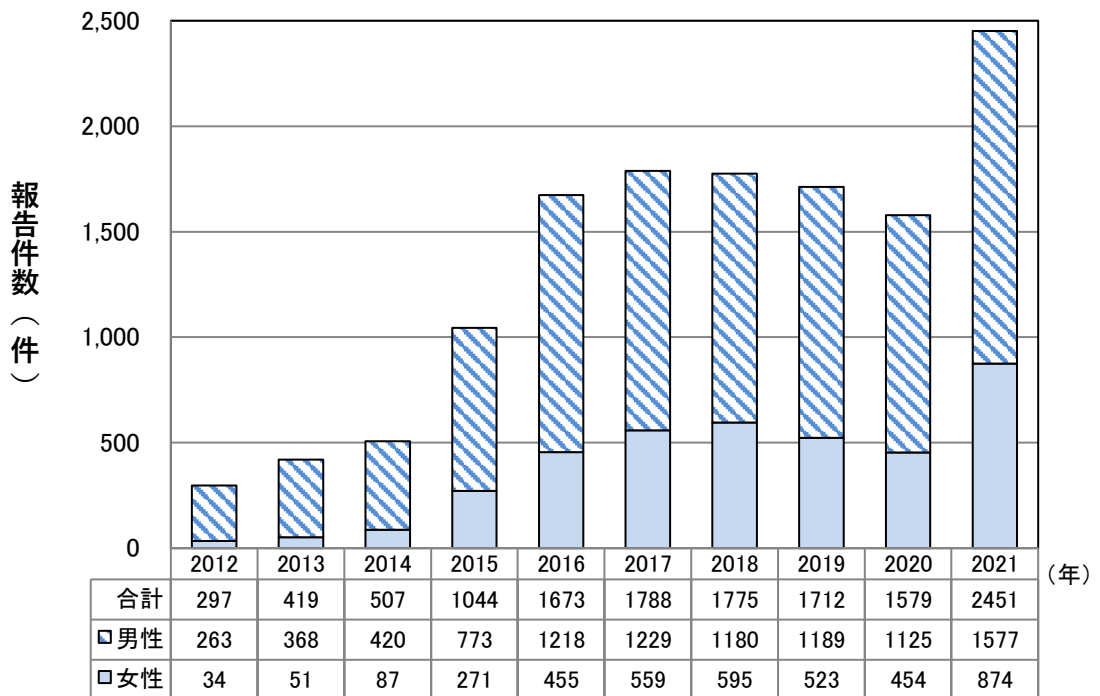
3 他の性感染症情報「東京都の梅毒の動向」

(図-9)

梅毒の患者報告数の推移
(過去10年)

梅毒とは？

梅毒トレポネーマというらせん状の細菌による感染症です。性行為で粘膜や皮膚の小さな傷から感染します。昔の病気と思われがちですが、近年患者数が増加しています。治療をしなければ、発疹やただれなどができたり消えたりしている間に、病気が進行してしまいます。



—東京都感染症情報センターHP「梅毒の流行状況」—

報告件数は2,451件で、前年と比べて872件増加し、1999年の感染症法に基づく調査開始以降、最多となった。男女別に見ると男性は452件、女性は420件増加した。

(図-10)

梅毒の推定感染経路別報告数の推移 (過去10年)

梅毒の特徴①

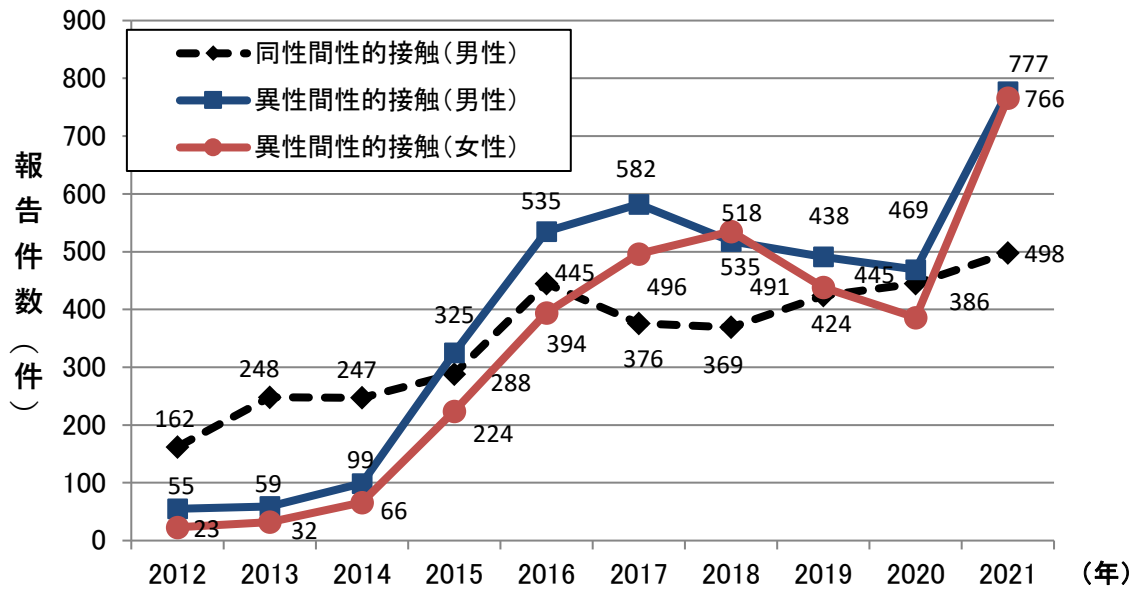
オーラルセックスでも感染します。

症状がなかったり、皮膚に症状がでて痛みやかゆみがないことがあります。

症状が自然と消え、治ったと思いつい込むこともあります。

免疫ができないので、治療し、完治しても何度も感染します。

症状がなくてもパートナーを感染させることもあります。



※このグラフには、「両性間性的接触」が推定感染経路の場合は含まれていない。

—東京都感染症情報センターHP「梅毒の流行状況」—

報告件数を見ると、男性の同性間性的接触が498件、異性間性的接触が777件、女性の異性間性的接触は766件で、いずれも2012年以降の10年間で最も多かった。

(図-11)

梅毒の男女別・年齢別患者報告数の推移 (過去5年)

梅毒の特徴②

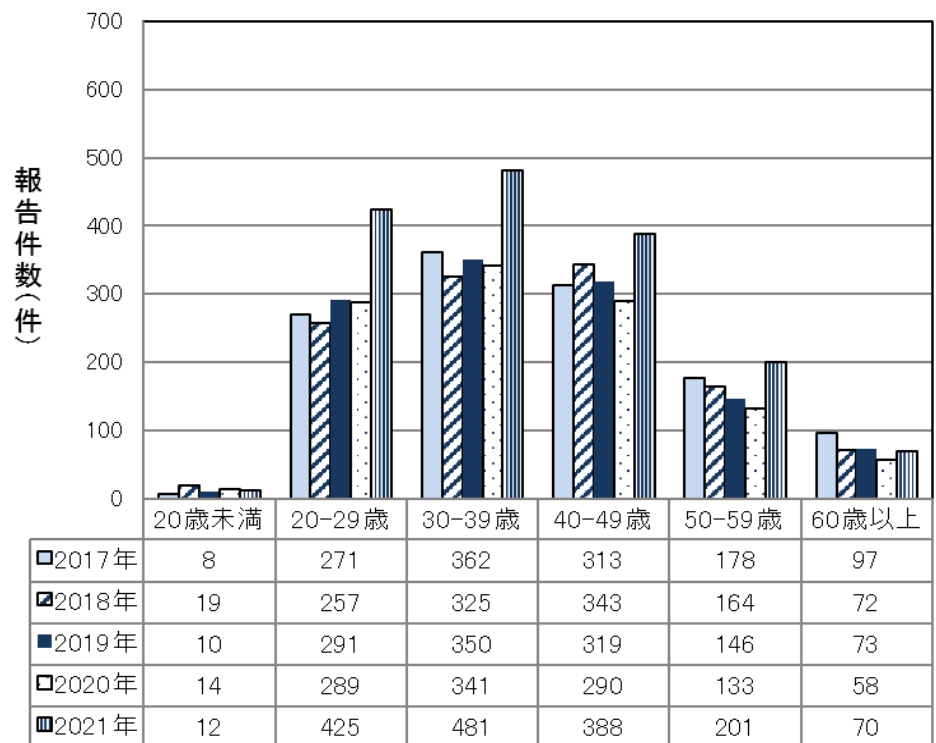
感染しているかどうかは検査で分かります。

パートナーも梅毒検査を受けましょう。

症状があるときはすぐに医療機関を受診しましょう。

予防には、コンドームの適切な使用が有効です。

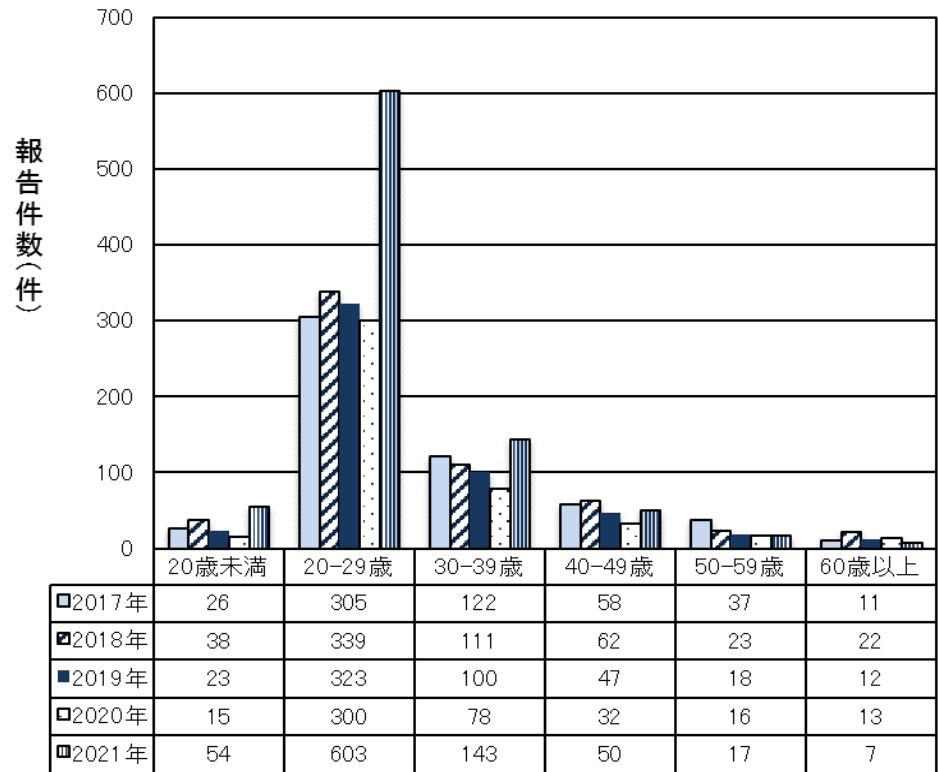
(1) 男性



(2)女性

梅毒の特徴③

女性が感染し治療しないしていると、妊娠した際にお腹の赤ちゃんにも感染することがあります。



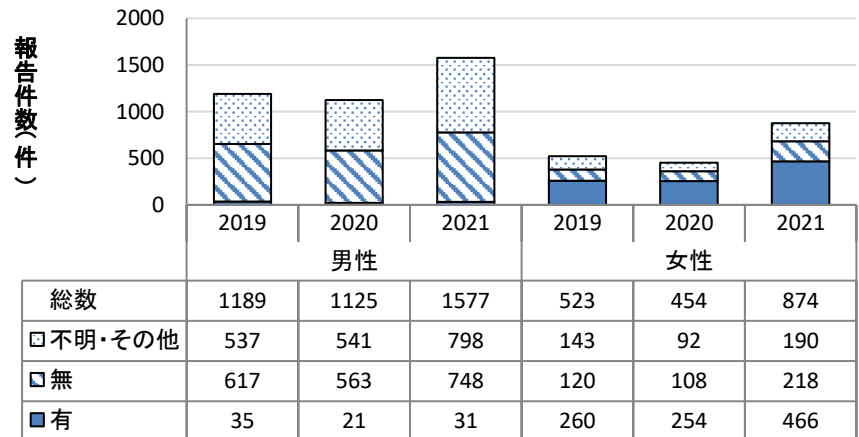
—東京都感染症情報センターHP「梅毒の流行状況」—

男女別に報告件数を見ると、男性は20～50歳代に多く、女性は20歳代に多い。2021年は、男性の20歳未満および女性の60歳以上を除く全年代で前年に比べて報告件数が増加した。

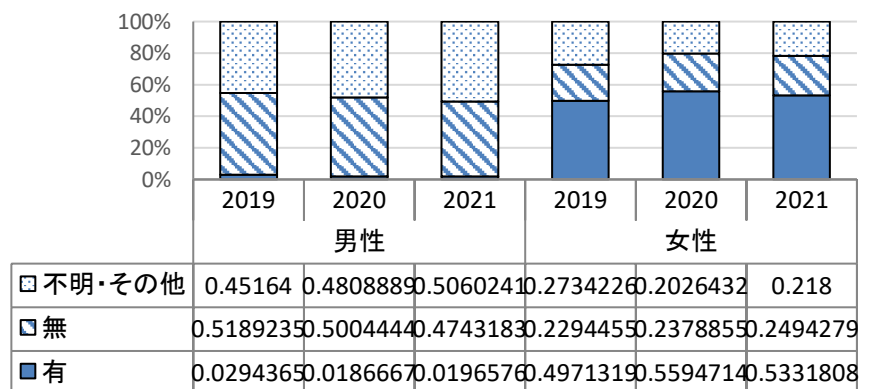
(図-12)

梅毒患者の男女別性風俗産業(直近6か月)従事歴(過去2年)

(報告件数)



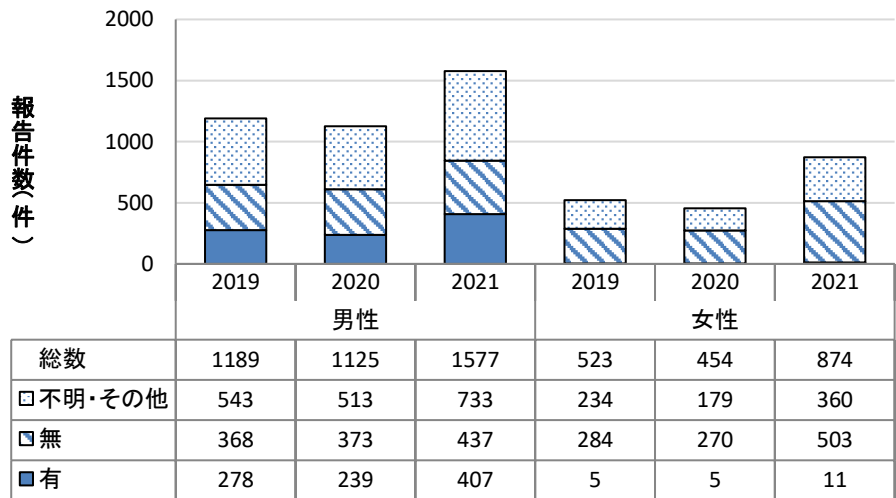
(割合)



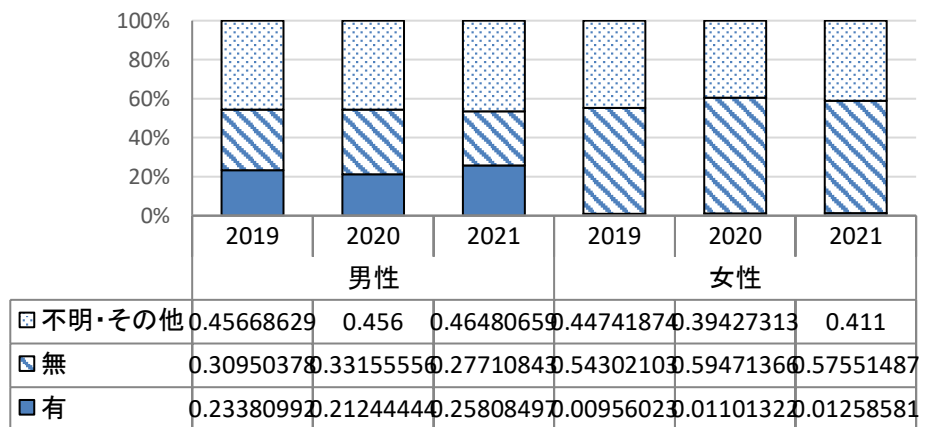
(図-13)

梅毒患者の男女別性風俗産業(直近6か月)利用歴(過去2年)

(報告件数)



(割合)



女性梅毒患者の約半数に、性風俗産業の従事歴があり、前年より2.6ポイント減少している。
男性梅毒患者の約25%に、性風俗産業の利用歴があり、前年より4.6ポイント増加している。

(図-14)

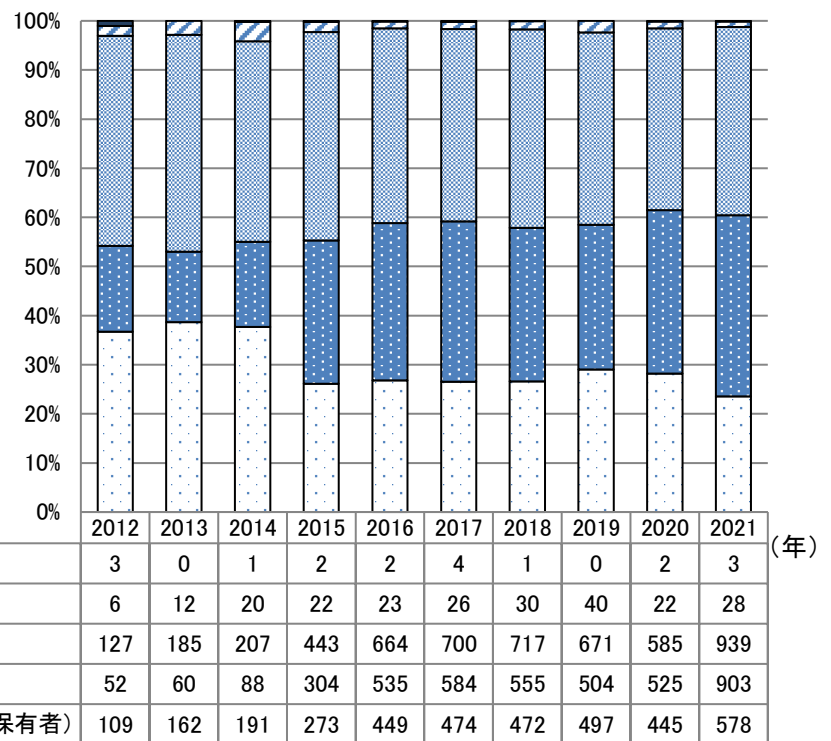
梅毒の病型別患者報告数の推移(過去10年)

梅毒の症状

無症候：
症状は現れていないが、梅毒血清反応が陽性。

早期顕症梅毒（Ⅰ期）：
感染した場所に、しこり・ただれ等の症状が現れている状態。

早期顕症梅毒（Ⅱ期）：
Ⅰ期の症状が消えた後、手足・全身などに発疹の症状が現れている状態。



—東京都感染症情報センターHP「梅毒の流行状況」—

2015年以降、早期顕症梅毒(Ⅰ期、Ⅱ期)の報告数及び割合が多い。

《梅毒情報》

東京都 性感染症 検索

東京都性感染症ナビ

梅毒についてのeラーニングや、国や自治体などの動向、性感染症に関連するイベントや研修などの最新の情報を掲載しています。

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/seikansensho/>



東京都福祉保健局HP「梅毒について」

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/iryu/kansen/syphilis.html>



東京都福祉保健局「性感染症ってどんな病気？」

梅毒やHIV/エイズ、その他性感染症について分かりやすくまとめたパンフレットです。

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/iryu/koho/kansen.files/sti.pdf>



《検査は匿名・無料》

※検査実施状況については、事前にHPを御確認ください。

★東京都新宿東口検査・相談室 HIV通常検査(予約制)

HIV検査と同時に梅毒検査も毎日実施しています。

住所:新宿区歌舞伎町2-46-3 SIL新宿ビル2階

予約電話番号:03-6273-8512

平日夜間・土日検査

電話予約・検査受付時間 月～金曜日(祝日を除く) 15:30～19:30

土・日曜日(祝日を除く) 13:00～16:30

※インターネット予約
(24時間)



※6/1～6/30及び11/16～12/15は、希望者には性器クラミジア・淋菌同時検査を実施

(尿検査のため、検査日の前日までに尿採取セットの受け取りが必要)

★東京都多摩地域検査・相談室 HIV検査(予約制及び先着順)

HIV検査と同時に梅毒即日検査も実施しています。

住所:立川市柴崎町2-21-19 東京都立川福祉保健庁舎内2階

予約電話番号:080-2022-3667

電話予約受付時間 月～金曜日(祝日を除く) 10:00～16:00

検査受付時間 土曜日(祝日を除く) 10:00から

※先着順検査は現在中止しています。

問い合わせ先 090-2537-2906 (日・祝日を除く9:30～17:00)

土曜・即日検査



【発行】東京都福祉保健局感染症対策部
防疫・情報管理課エイズ対策担当
〒163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03-5320-4487